

調査計画

1 調査の名称

花木等生産状況調査

2 調査の目的

本調査は、作物統計調査（基幹統計調査）で対象となっていない花木等^(注1)の出荷量、出荷額等を把握し、需給動向に即した生産振興及び消費・輸出拡大対策の企画立案等の基礎資料を得ることを目的とする。

（注1）花木等の定義については、別紙1を参照。

3 調査対象の範囲

（1）地域的範囲

花木等ごとに主産県の区域（調査品目ごとに全国作付面積のおおむね8割を占める^(注2)上位都道府県）ただし、3年ごとに全国の区域（以下、3年ごとの調査を実施する年を「全国調査年」という。）

（注2）直近の全国調査年の結果から判断する。

（2）属性的範囲

集出荷団体等^(注3)

（注3）関係団体発行の会員名簿及び都道府県域の関係機関で備え付けの花き生産組織名簿に記載されている者、都道府県単位の生産者団体、都道府県又は都道府県農業協同組合中央会のことをいう。

4 報告を求める個人又は法人その他の団体

（1）数

18 団体（母集団数：63 団体）（全国調査年は 47 団体（母集団数：171 団体））

（2）選定の方法（☐全数 ☐無作為抽出 ☒有意抽出）

農林水産省が作成した集出荷団体等の名簿を母集団情報として、都道府県内の花木等の作付面積や出荷状況等を取りまとめている集出荷団体等を選定する。

5 報告を求める事項及びその基準となる期日又は期間

（1）報告を求める事項（詳細は調査事項一覧を参照）

ア 花木の種類別（ツツジ、サツキ、カイツカイブキ、タマイブキ、ツバキ、モミジ、ヒバ類、ツゲ類及びその他花木。以下同じ）の作付面積、出荷数量、出荷額及び花木類の実栽培農家数

イ 芝の区分別（日本芝及び西洋芝。以下同じ）の作付面積、出荷数量、出荷額、用途別出荷数量割合及び芝の実栽培農家数

ウ 芝以外の地被植物の区分別（蔓ものの類、タケ・ササ類、ジャノヒゲ類、草本類及び木本類。以下同じ）の作付面積、出荷数量、出荷額、用途別の出荷数量割合及び地被植物の実栽培農家数

ただし、調査事項によって把握する周期が異なる。詳細は別紙2を参照。

（2）基準となる期日又は期間

調査実施年（調査票の提出期限の年。以下同じ）の前々年1年間（1月1日～12月31日）を調査の対象

期間とする。

6 報告を求めるために用いる方法

(1) 調査組織

農林水産省－民間事業者－報告者

(2) 調査方法（□調査員調査 ■郵送調査 ■オンライン調査 ■その他（FAX））

民間事業者が報告者の希望を確認した上で、郵送、オンライン（電子メール）又はFAXのいずれかの方法により調査票を配布・回収する自計調査の方法とする。

なお、電子メールによる場合は、調査票を収録したファイル（Excel）にパスワードを設定して回収することでセキュリティを確保することとする。

また、FAXによる調査票の送信に当たっては、調査票の送信前後に、報告者と民間事業者の双方において、調査票の送付・受取の確認連絡によるセキュリティ対策を講ずることとする。

7 報告を求める期間

(1) 調査の周期

1年

(2) 調査の実施期間又は調査票の提出期限

毎年12月中旬～翌年2月中旬

8 集計事項

(1) 花木類の種類別生産・出荷状況（作付面積、出荷数量、出荷額）及び実栽培農家数

(2) 芝の種類別生産・出荷状況（作付面積、出荷数量、出荷額、出荷先別出荷数量割合）及び実栽培農家数

(3) 地被植物の種類別生産・出荷状況（作付面積、出荷数量、出荷額、出荷先別出荷数量割合）及び実栽培農家数

9 調査結果の公表の方法及び期日

(1) 公表の方法

調査結果はインターネット（農林水産省ホームページ及びe-Stat）により公表する。

(2) 公表の期日

調査実施年の8月中旬までに公表する。

10 使用する統計基準

本調査は、都道府県の範囲を区域とする関係団体の会員、花き生産者団体、都道府県等の集出荷団体等を対象とする調査であり、調査対象の範囲の確定及び集計結果の表示に、統計基準を用いる余地が小さいことから、いずれの統計基準も使用しない。

11 調査票情報の保存期間及び保存責任者

農林水産省大臣官房統計部長は、記入済み調査票を3年（調査実施年の4月1日から起算）、調査票の内容を記録した電磁的記録媒体を永年保存する。

別紙 1

本調査における花木等の定義

「花木等」とは、花または果実を観賞するために栽培される木本(鉢ものの類は除く。)及び造園や装飾に用いるために栽培される草木をいい、花木類、芝、地被植物類に区分される。

- 1 花木類とは、新緑や紅葉・斑入り葉などの葉の美しさを愛でるための植物や端正な樹形を楽しむための植物をいう。
- 2 芝とは、芝草を人工的に群生させ、地表面を緻密に被覆する多年草の植物をいう。
- 3 地被植物類とは、地表面を覆って地肌を隠す為に植栽する植物の総称で、草丈が低く性質強健な木及び草の事をいう。

別紙2

調査対象品目ごとに、以下の区分で把握する。

	調査事項	周期
主産県	作付面積	毎年
	出荷数量、出荷額、用途別出荷数量（花木を除く。）、実栽培農家数	毎年
主産県以外	作付面積	3年ごと
	出荷数量、出荷額、用途別出荷数量（花木を除く。）、実栽培農家数	6年ごと

調査事項一覧

- 1 ア花木の種類別（ツツジ、サツキ、カイツカイブキ、タマイブキ、ツバキ、モミジ、ヒバ類、ツゲ類及びその他花木。以下同じ）の作付面積、出荷数量、出荷額及び花木類の実栽培農家数
- 2 芝の区分別（日本芝及び西洋芝。以下同じ）の作付面積、出荷数量、出荷額、用途別出荷数量割合及び芝の実栽培農家数
- 3 芝以外の地被植物の区分別（蔓ものの類、タケ・ササ類、ジャノヒゲ類、草本類及び木本類。以下同じ）の作付面積、出荷数量、出荷額、用途別の出荷数量割合及び地被植物の実栽培農家数